

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

（社会福祉学部）

平成 29 年(2017 年)5 月 1 日現在

1. 社会福祉学科の学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

【知識】

地域の多様な福祉課題を広い視野から多角的、多面的に把握し、理解するとともに、その解決策を構想し、実践するために必要な人間、家族、社会に関する高度で専門的な知識を身につけている。

本学科では、総合的な視点から、現代の多様化・複雑化する日常生活の現実や、そこでの福祉ニーズを捉えるために、社会福祉学の専門的知識の積み上げをめざします。この積み上げは、大学教育の基礎をなす教養の涵養、および人間、家族、社会に関わる人文・社会科学関連の広範な基礎知識の修得を基盤にしているので、学生は、福祉社会に生きる一市民として、そしてソーシャルワーカーとしての、足場となる確かな知識を修得します。

【技能】

人間関係形成のためのコミュニケーション力を養い、人々の持てる力を引き出すことができるよう、人や環境に働きかけて課題を解決できる思考力と技術を身につけている。

社会福祉の営みは、人と人との関係の上に成り立ちます。コミュニケーションは、人と人との関係をつくりだすために不可欠のものです。学生は、学修した知識を活用して、人や地域が抱える課題を的確に捉え、人と人との関係を紡ぎながら、新たな福祉を構想する論理的思考力に、それを達成するための方法論を結びつけ、<人々がその人らしい暮らし>を実現する技能を修得します。

【自分をみつめ周囲をみつめる態度】

現代社会に生きる一市民として自律的かつ洞察的な判断ができるとともに、自分自身について、また自分と他者・社会との関係について深く理解し、人と人との関わりを紡いでいくことのできるしなやかな構え・態度を身につけている。

学生は、福祉社会に生きる一市民として自ら考え、判断できるように、本学科の学修課程、あるいはボランティア活動やサークル活動を通して、自分以外の他者の存在を受け入れ、その想いを受け止め、また、地域社会に対しても深い関心を寄せ、受容と共感的態度をもってかかわるといった人間性の尊重を軸に、自分を見つめながら人や現実から学ぶ態度・姿勢を身につけます。

【命を尊重する権利擁護の姿勢】

一市民としての人権感覚を常に磨き、人命・人権の尊重、社会正義の原理をゆるぎないよりどころとする倫理観と行動力を身につけている。

学生は、すべての人が生まれながらにもっている基本的人権に対する確固とした認識を持ち、人間愛と豊かな感性に基づいて、あたりまえの権利が侵害されたり、脅かされたりしや

すい状況にある人々の、＜生活者としての権利＞を護るために何をすべきか考え、行動に移すことのできる人権感覚を身につけます。福祉社会に生きる一市民としての人権感覚を常に磨き、人権と社会正義の原理をゆるぎないよりどころとして、行動できる力を身につけます。

【総合的視点】

生涯にわたる人間の福祉を願いつつ、共に生きることのできる社会を実現するために、自己の成長をはかり、私たちの未来を拓くことのできる創造的な実践的資質を身につけている。

他者へと開かれた構え・姿勢のもと、コミュニケーションへの志向をもち、身につけた豊かな知識と確かな福祉技能を、人と人との関係のなかで実際に動かすには、自らの頭で考えつつも、その考えを自ら冷静に省察し、みつめる力が必要です。学生は、人と人との関わりのなかで、自らの知識や技能を駆使して、自ら考え行動することのできる資質を身につけ、生涯にわたって自己研鑽し、人間的成長をはかっていく力を身につけます。多様な生き方や志向、価値観を有する人々とともに連帯、協働しながら、人々の命やこころ、くらしが尊重される福祉社会に貢献できる力を修得します。

卒業または修了の認定に当たっての基準（社会福祉学部）

平成29年（2017年）5月1日現在

社会福祉学科 卒業要件

学則第60条の規定による卒業に必要な単位は128単位です。その内訳は以下のとおりです。

<基礎教養科目群>

基盤科目群	14単位以上	合計34単位以上
初年次教育	必修2単位	
情報教育	4単位（必修4単位を含む）以上	
言語教育	選択8単位以上（注1）	
科学基礎科目群	選択7単位以上（注2）	
統合科学科目群	選択6単位以上（注3）	

<専門教育科目群>

専門基礎科目	選択10単位以上	合計94単位以上
基幹科目	必修12単位	
展開科目	56単位以上	
福祉理論	選択10単位以上	
福祉分野	選択16単位以上	
福祉援助技術	4単位（必修4単位を含む）以上	
演習	必修10単位	
関連科目	選択8単位以上（注4）	

合計 128単位以上（注5）

（注1）英語（認定言語「検定英語Ⅰ～Ⅳ」を含む）8単位以上修得すること。ただし、外国人留学生にあっては、英語に代えて「外国人のための日本語Ⅰ・Ⅱ」を修得すること。

（注2）社会科学系、自然科学系、人文科学系からそれぞれ2単位以上を修得すること。

（注3）「地域共生論」、「やまぐちの歴史と文化」、「地域環境論」、「地域共生演習」、「地域学」、「ボランティア」から2単位以上を修得すること。

（注4）他学部、他大学で履修した科目も4単位を上限として含めることができる。

（注5）自由科目は卒業単位に算入できない。

④履修モデル

学生の学習計画は、各自の問題関心や卒業後の進路によって異なります。福祉関連施設・組織や福祉行政機関、一般企業や行政機関、教育機関等への進路を念頭に置いた計画づくりの参考として、表2のように「社会福祉系」、「精神保健福祉系」、「福祉教育系」、「一般・公務員系」の履修モデルを用意しました。学習計画を立てる際の参考にしてください。